

大作戦シリーズ第4弾！
 認め合い、支えあう「ふくしの心」を育てよう！
「みんなでふくし大作戦！」
 詳細 社会福祉課 ☎32-6354 http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/ みんなでふくし大作戦！ 検索
 「みんなでふくし大作戦！」はまちぐるみで福祉に取り組むことを目指します！

地域で行われている福祉活動やボランティア活動事例を紹介します！

「みんなでふくし大作戦！」では、地域で行われている福祉に関する取り組みやボランティア活動事例を募集しています。今回はこれまでの応募の中から「植苗大幹クラブ」の活動を紹介します！

ボランティア活動事例報告「植苗大幹クラブ」

活動の概要

- 活動開始時期
昭和51年から活動する植苗の老人クラブで、平成12年9月18日に車いす整備のボランティア活動を開始。
- 活動のきっかけ
東胆振ケアセンターで利用されている車いすの台数が多く、整備に苦慮していることを知って、老人クラブの奉仕活動として車いすを整備するボランティア活動を始めました。
- 現在の活動状況
毎年3回、植苗地区にある東胆振ケアセンターと身体障害者療養施設ライフウイングで車いすの整備を行っています。12人程度のメンバーが施設を訪問し、車体やシート部分のふき掃除、錆びている部分の錆び落とし、可動部分の油さし、タイヤの空気入れなどを行っています。
クラブのメンバーは平均年齢77歳。自転車なら自分で整備できる世代とのことから、車いすの整備を始めたそうです。車いす整備は汗のにじむ大変な作業で、高齢のメンバーには楽な作業ではありませんが、車いすを使う人に「綺麗になった」と喜んでもらえることがボランティア活動の励みとなり、10年もの間活動を続けてきました。

活動の様子

植苗大幹クラブさんが東胆振ケアセンター、身体障害者療養施設ライフウイングでボランティア活動をしている様子を紹介します。

車体のふき掃除や、錆びを落とす様子。

車いすの空気入れの様子。

タイヤ部分のねじを確認している様子。

メンバーの声！
 車いすの利用者に喜んでもらえることが活動のやりがいや喜びです。無理せず仲間と楽しみながらをモットーに、活動を続けていきたいです！

施設の方の声！
 施設にある車いすの数が増えて、職員だけでは満足な整備ができなくなっていました。植苗大幹クラブの方が車いすの整備をしてくれて、とても助かっています！

車いす利用者の声！
 車いすの操作は手の力が必要で、結構大変です。整備をしてもらうと、綺麗になって動きも軽く振動も減り、使いやすくなるのでとても嬉しいです！

代表者の声！
 老人クラブの奉仕活動の一つとして、車いす整備のボランティアを始めました。使う人の気持ちになって、清潔で安全に使えるよう丁寧な作業を心がけています。自分達も高齢なので、今までどおり年3回のペースで無理せず活動を続けていきたいと思っています。
 仲間と一緒に作業をし、綺麗に整備されていく車いすを見ていると達成感があります。また、車いすを使っている方からの感謝の気持ちを聞くと、ボランティアをしている自分たちも嬉しくなり、活動の励みになります。これからも、地域に根づくボランティアとして、活動を続けていきたいです。

代表 桑原 信朗さん

活動事例は引き続き募集しています。応募詳細はホームページをご覧ください！

地球温暖化防止に取り組もう！

～ 1人1日1.5kgのCO₂を削減しよう～ 詳細 環境保全課 ☎36-8801

家庭から排出されるCO₂が増えています

苫小牧市の家庭から排出されるCO₂排出量は1990年以降増加傾向にあり、何らかの対策を講じない限り今後も増え続けると予想されています。平成21年2月に策定した苫小牧市地球温暖化対策地域推進計画では、2017年度までに一世帯あたりのCO₂排出量を1990年度比7%削減することを目標として、CO₂排出量削減のために様々な取り組みをしています

目標を達成するには？

普段の生活の中での「小さなこころがけ」一つで簡単にCO₂を削減することができます。目標を達成するために、1人1日1.5kgのCO₂を継続して削減していきましょう。住み良い環境を未来へ残していくためには、一人ひとりが取り組みを積み重ねて行くことが大切です

簡単なことから始めてみよう！

主な削減方法	1日あたりのCO ₂ 削減量
●テレビの電源を1時間消す	96g
●車の発進時にアクセルをゆっくり踏むようにする	636g
●シャワーの時間を1分間短くする	77g
●蛍光灯を1時間消す	19g

イベントに参加して学んでみよう！

CO₂削減の目標達成のため、「1人1日1.5kgのCO₂を削減しよう！」を目標に「楽しく」、「わかりやすく」学べるイベントや、市民の皆さんや事業者の皆さんとともにCO₂削減を啓発するためのコンテストなどを実施します。開催日などの詳細は広報とまこまいなどでお知らせします

Event 1 エコステッカーデザインコンクール
 「エコドライブ」または「エコオフィス」のデザインコンクールを通して、環境問題への関心を高めます 7～8月募集

Event 2 「苫東・和みの森」もりづくり体験
 全国植樹祭会場で、森林を守る大切さや育て方について学ぶための作業体験を行います 夏休み期間開催

Event 3 せせらぎスクール
 川の生き物を採取し、名前や生息などを調査して環境との関わりについて学びます 夏休み期間開催 水生生物観察の様子

Event 4 エコドライブ講習会
 温室効果ガス排出量削減のために有効な運転方法であるエコドライブ技術を習得するための実技講習会を行います 9月開催 エコドライブ講習の様子

Event 5 エコドライブ宣言募集
 エコドライブの宣言者を募集し、コンテストで決まったステッカーを車に貼ってエコドライブをPRします 11月開催

Event 6 電気使用量削減！省エネコンテスト
 電気使用量の削減をするコンテストを行い、成績優秀者を表彰して市民に省エネ意識の浸透を図ります 1月～3月開催

市民・事業者・行政で構成された苫小牧市環境基本計画推進会議の主催イベントです。三者の協働により、地球温暖化防止に向けたイベントなどを企画しています

出前講座を実施しています

学校や町内会、企業などの団体の要請に応じて、学習講座を実施しています。地球温暖化のしくみと現状の解説、「1人1日1.5kgのCO₂を削減しよう！」の取り組みとして、身近にできる省エネ行動について、わかりやすく紹介します。ぜひ申し込みください

申し込み 環境保全課 ☎36-8801

